

両生類・爬虫類

No.	目名	科名	種名(和名)	学名	最終記録年	重要種					外来種	
						i	ii	iii	iv			
									区部	本土部		
1	無尾目	ヒキガエル	アズマヒキガエル	<i>Bufo japonicus formosus</i>	2021				VU	NT		
2		アマガエル	ニホンアマガエル	<i>Dryophytes japonicus</i>	2016				EN	NT		
3		アカガエル		ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>	2018				EN	EN	
4				ウシガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	2002						特
5				トウキョウダルマガエル	<i>Pelophylax porosus porosus</i>	2005			NT	CR	EN	
6		アオガエル	シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>	2014				CR	NT		
7	カメ目	イシガメ	クサガメ	<i>Mauremys reevesii</i>	2002							
8			ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>	1985			NT	CR	CR		
9			ヌマガメ	<i>Trachemys scripta</i>	2015						特	
10	有鱗目	ヤモリ	ニホンヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>	2021				VU	NT		
11		トカゲ	ヒガシニホントカゲ	<i>Plestiodon finitimus</i>	2021				CR+EN	VU		
12		カナヘビ	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>	2021				CR+EN	VU		
13		ナミヘビ		アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>	2021				NT	NT	
14				シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>	2013				CR	VU	
15				ヒバカリ	<i>Hebius vibakari vibakari</i>	2021				VU	VU	
16				ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>	1982				CR	VU	
17	クサリヘビ	ニホンナムシ	<i>Gloydius blomhoffii</i>	1981				CR	EN			
確認種数			3目11科17種				0種	0種	2種	14種	14種	2種

注1) 種名及び分類については、原則として「日本産爬虫両生類標準和名リスト」(2022年11月6日版)に準拠した。

注2) 重要種 i ~ iv の凡例は以下の通りである。

i 「文化財保護法」(昭和25年5月30日法律第214号、改正：平成26年7月13日法律第69号)

国天：国指定天然記念物

ii 「改正・絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年7月5日法律第75号、改正：平成30年7月1日)

国内：国内希少野生動植物種

iii 「環境省レッドリスト2020の公表について」(令和2年3月27日発表：環境省ホームページ)

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧、CR：絶滅危惧 I A類、EN：絶滅危惧 I B類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

iv 「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)~東京都レッドリスト~2020年版(区部)」(令和3年3月：東京都)

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧 I A類、EN：絶滅危惧 I B類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、留：留意種

注3) 外来種は「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」における「特：特定外来生物」及び「未：未判定外来生物」に指定された種とした。

注4) アズマヒキガエルはニホンヒキガエルとの交雑が懸念されているため識別が困難である。

Hase, K. and Nikoh, N. (2013) Population admixture and high larval viability among urban toads, Ecology and Evolution 3(6): 1677-1691

また、シュレーゲルアオガエルは人為的移入の可能性がある。